



第九たいむず

No.22 2016.10.27 通刊1212号 担当 motokyu

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

◆お詫びと訂正 ……たいむず NO.18 が2週続いて発行されてしまいました。今号は NO.21ですが、ここで軌道修正して NO.22 と訂正させていただきます。ご了承ください。

◆ 軽井沢合宿について

来月、11月5日・6日に行われる軽井沢合宿が迫ってまいりました。再度、集合時間、持参品、諸注意等を確認しましょう。11月5日(土)集合時間 13:30分→この時間から発声練習を行うため、スタートができるようにお願いします。

11月6日(日)第九の講義 9:00~10:00、10:00~練習開始。予定終了時間は16:00

持参品・楽譜、筆記用具、録音機器、パジャマ、タオル、洗面用具、上履き(備え付けのスリッパだと結構、冷えます)、マイカップ、自分の飲み物など、防寒グッズ(ひざ掛け等)、また一人一品持ち寄りをお願いします。

駐車場は詰め込みになります。土曜日に帰られる方、日曜日に来られる方は研修センター看板の有る手前隣接駐車場に止めてください。当日、駐車場係がご案内いたします。乗り合わせで来られる方は運転者に片道500円、往復1000円をガソリン代としてお渡しください。

毎年、就寝前の飲み会で大騒ぎになったり、7時の起床時間前に洗面所や廊下等で大声でお話される方がいらっしゃいます。まだお休みの方もいらっしゃいますので、おでかけの際はお話を控え、出口の扉をそっと締めるといった配慮をお願いします。

◆ 演奏会のチケットを販売しましょう

チケットの売上により演奏会にかかわる全ての費用を賄っています。私たちの演奏を周囲の人に、聴いて、観て、楽しんでいただくために、演奏会を積極的にアピールしていきましょう！

私たちの演奏会です。一人ひとりが売るという努力をしていきましょう。チケットは1枚でも売れたらその都度、代金、封筒をお持ちいただき、受付で清算してください。

また、今回から黒板をつかい、団員間でチケットを交換いたします。〈チケット求む！A席2枚・ソプラノ〇〇〉と付箋に記入し、黒板に貼り付けてくださいね。チケットがご手持ちにある方も気を付けてみてください。あなたのチケットを必要としている方がいます。

◆ 演奏会のチラシ・ポスターあります！

第43回第九演奏会のチラシ、ポスターができあがっています。ポスターを貼ったり、チラシを友人知人に配るなど、演奏会の宣伝をしていただき、第九の輪を広げていきましょう。

検印が済んでいるポスターは、屋外に貼ることができます。(貼る場所は必ず許可を得て貼り、演奏会終了後は貼ったままにせず、必ず剥がしてください)

11月から高崎駅構内にも掲示されますのでお楽しみに！

◆ プログラムの広告を募集しています

演奏会のプログラムに掲載していただける企業やお店等を募集しています。要項、見本もあります。詳しくは、アルト原さん、中島さんまで。締切りは本日10月27日(木)です。

◆ 今後の予定

11月5日(土)~6日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)

- 11月24日(木) 指揮者レッスン(渡邊一正氏が練習会場で指揮をします)
 12月10日(土) 第43回 第九演奏会(群馬音楽センター)
 12月18日(日) 足利の第九(男声の応援をお願いします。詳細は後日連絡します)

なお、12月15・22・29日および2017年1月5日(木)の練習はお休みです。

2017年(平成29年)

- 1月12日(木) 新年会・歌い初め(練習会場)
 4月16日(日) メイコンサート特別練習(高崎市中央公民館)
 5月28日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)

◆ 演奏会時の衣装について

演奏会のクリスマスメドレー、ハレルヤを歌う際、毎年赤いポインセチアを胸につけています。

新人のお持ちでない方は、係の者がまとめて後日買って用意いたします。

女性は白いブラウス＋黒のロングスカート＋黒靴です。オーバーブラウスは不可。ブラウスはインになります。男性は黒の背広＋白いシャツ＋黒靴＋蝶ネクタイです。後日、衣装担当者が見本として登壇いたします。

◆ 演奏会に向け新人さんより抱負⑥

ソプラノ 富澤真世さん

こんにちは。新入団員の富澤真世です。偶然のご縁で、歴史ある高崎第九合唱団に入団することができました。いつか、第九を歌ってみたい！私の中に芽生えていたと思います。素敵なお縁に感謝です。初めての合唱経験といえど...遠い記憶をたぐりよせると、中学の合唱コンクールでしょうか。ずいぶんさかのぼってしまいましたが、みんなでハーモニーをつくっていく事がとにかく楽しかった。

それから月日は流れ...初めて見学に訪れて、皆さんの歌声。赤羽先生のユーモアを交えた魅力的なご指導。先生のお話からベートーヴェンの第九に寄せる情熱。ドイツ語の響き。即、入団したいと思いました。本番の舞台を夢見て、楽しみながら練習に参加していきます。フロイデ、フロイデ～♪♪ よろしく願いいたします。



◆ 来週11月3日(木)は駐車料金の精算日です

所定の用紙に1回200円以上の領収書を5回分貼り受付に提出して下さい。精算される人は練習が始まる前に受付に提出できるよう少し早めに来て頂くと助かります。

◆ ゴッホとゴーギャン展

赤羽洋子

昨年のドイツ公演で立ち寄ったアムステルダムゴッホ美術館で沢山の作品を楽しんでから1年近く経ちました。トリアー公演を懐かしみつつ都美術館で開催中のゴッホに会いに行ってきた。「ゴッホとゴーギャン展」128年ぶりの再会と書かれていました。2人はアルルで2か月同居していました。私はアルルでこの2人が住んでいた「黄色い家」に行った事が有るので、その風景や建物前の公園の風景が蘇りました。破局を迎えゴッホが自らの耳をそぎ落としたのを受けゴーギャンは家を出てしまいました。その後ゴッホはピストル自殺をしてしまったので、二度と会うことはありませんでした。日本で2人の作品展が企画され128年ぶりに作品が再会しました。まるで作風の異なる印象の2人ですがお互いの作品を尊敬し尊重し合っていました。バルビゾン派に心惹かれ、野生派、歌川広重を愛しジャポニズムのゴッホは日本人の大好きな画家の一人です。アムステルダムで観た「花咲くアーモンドの枝」を彷彿させる「アーモンドの小枝」が印象的でした。新宿日本興亜美術館にある東郷青児記念館。42階に「ひまわり」が展示されています。あの絵を見ると気持ちが高揚して力が湧いてくるような存在感が有ります。今回の展覧会には2人の作品以外に同時代で影響を受けたモネ、ロートレック、ミレー、ルソー、セザンヌ等の作品も展示されています。この展覧会は2人の巨匠の違い、その違いがどう影響しあっているか偉大な芸術がどのように生まれたのかがテーマです。

文明からの解放、自然と野生を求めてタヒチに渡りパリに戻ることなく生涯を通したゴーギャンの黄色はゴッホのひまわりに通じる色だったのでしょうか！